

使途不明金と相続税申告実務コース

[第9-16講座] 全日10:30～17:00(受付10:00～)

笹岡宏保^{税理士}資産税実務2020



相続開始前の預金出金(使途不明金)と相続税申告業務への対応

相続税の申告実務において、最も注目される事項の1つとして被相続人に係る生前の預貯金の動きがあります。特に、相続開始の前に高額な預金の動きが確認される事例ではその確認を行うことは、今や必須の実務項目とされるものと考えられます。本講座では、下記に掲げる内容で被相続人の相続開始前における使途不明の預金出金と相続税申告業務への対応という実務上の悩ましい項目について検討してみます。

第9講座	東京 8月24日(月)	大阪 8月1日(土)
第10講座	東京 8月25日(火)	大阪 8月2日(日)
第11講座	東京 9月13日(日)	大阪 9月19日(土)
第12講座	東京 9月14日(月)	大阪 9月20日(日)
第13講座	東京 10月3日(土)	大阪 10月1日(木)
第14講座	東京 10月4日(日)	大阪 10月2日(金)
第15講座	東京 11月22日(日)	大阪 11月3日(火・祝)
第16講座	東京 11月23日(月・祝)	大阪 11月4日(水)

1. 近年における相続税申告(税務調査)の状況
2. 相続税申告に当たっての預金出金(使途不明金)の確認方法
3. 預金出金(使途不明金)が相続開始時における『手持現金』とされる場合
4. 預金出金(使途不明金)が『民法上の贈与(本来の贈与財産)』とされる場合
5. 預金出金(使途不明金)が『相続税法上の贈与(みなし贈与財産)』とされる場合
6. 預金出金(使途不明金)が『不当利得返還請求権(本来の相続財産)』とされる場合
7. 預金出金(使途不明金)に対する税務修正と重加算税の賦課決定の可否
8. 預金出金(使途不明金)の取扱いが争点となった各種の裁判例・裁決事例の検討

上記2から7までに掲げる各種論点が争点となった裁判例・裁決事例を約15～20事例程度ご紹介します。この裁判例・裁決事例の検討によって、法令通達集や実務問答集では確認できない相続申告実務の奥義を確認します。